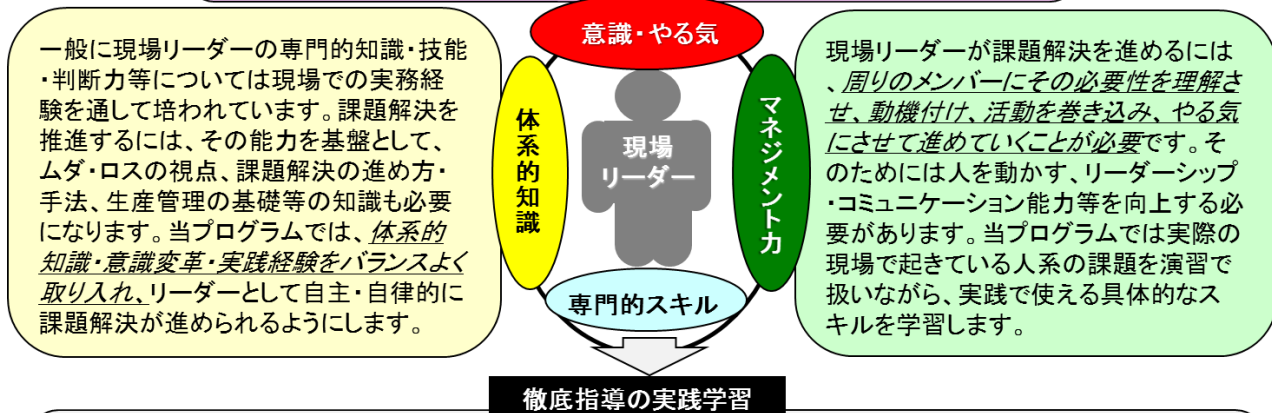


現場リーダー課題解決能力向上プログラム

プログラム内容・スケジュール

プログラムの基本的構成と特徴

課題解決・改善活動の推進は、現場リーダー自らが決意と意欲を持って取り組まなくては成功しません。そのためには改善活動の必要性を強く感じ、自らのやる気に火をつけることが不可欠です。また解決・改善の喜びを知ることが重要で、上からの押し活動ではなく、自ら「やりたい」と思う課題に挑戦し、達成の喜び、成功体験を知ることにより、自ら主体的に動くことができるリーダーを育てます。



一般に現場リーダーの専門的知識・技能・判断力等については現場での実務経験を通して培われています。課題解決を推進するには、その能力を基盤として、ムダ・ロスの視点、課題解決の進め方・手法、生産管理の基礎等の知識も必要になります。当プログラムでは、体系的知識・意識変革・実践経験をバランスよく取り入れ、リーダーとして自主・自律的に課題解決が進められるようにします。

現場リーダーが課題解決を進めるには、周りのメンバーにその必要性を理解させ、動機付け、活動を巻き込み、やる気にさせて進めていくことが必要です。そのためには人を動かす、リーダーシップ・コミュニケーション能力等を向上する必要があります。当プログラムでは実際の現場で起きている人系の課題を演習で扱いながら、実践で使える具体的なスキルを学習します。

実際に現場の品質・コスト・納期・安全を維持・向上していくためには、専門知識、改善の体系的知識、実施にあたりメンバを巻き込み、動機づけ、指導するリーダーシップや対人対応力、そして本人の意欲と役割意識の総合力が必要です。当プログラムでは、教室での学習に留まらず、受講生の自主的な改善の取組みの実践を通じて、受講者に達成感を感じてもらふことにより、自信に満ちた現場改善リーダーを育てます。

育成する能力とプログラムの関係

課題解決プロセス	体系的知識	実践力	専門性	意識	マネジメント力
	講義	チーム活動 個別指導	上司による フォロー	気づき体験型 研修	気づき体験型 研修
問題発見	ムダ・ロス等の問題把握の着眼点	自職場の問題点の抽出・課題選定	課題設定に関する意見交換・指導	1.改善の重要性理解	1.部下のやる気と自主性を育むコミュニケーションスキル
現状分析 原因分析	IE,QC等業務改善手法	1. チーム活動による現状・原因分析の実施 2. 個別のチーム活動に対する確認・指導	チーム活動実施環境の整備と支援 現状・原因分析実施状況のフォロー・指導	2.変革を起こす役割認識 3.自分が源泉の意識	2.関係性の質が組織を変える
改善案 創出	IE,QC等業務改善手法	1. チーム活動による改善具体案の創出 2. 改善実施計画の策定	改善案に対する意見交換・指導	4.やり方を見直す発想	3.チーム力向上の情報共有と目標共有
改善案 実施	—	現場改善案の実施	改善案実施状況のフォロー・指導	5.セルフ・モチベーション	4.部下を動機づけて成果を創出する環境づくり
効果検証	IE,QC等業務改善手法	1. 課題に対する改善効果の検証 2. 次の課題の抽出	活動に対する総合評価・指導	6.縦の連携と横の連携	

プログラム（例）

3日間プログラム

スケジュールイメージ（例）

日	テーマ・主な内容	日	テーマ・主な内容
1	気づき体験型研修 ・リーダーシップを発揮できる人材を育成するマネジメント（エンパワメント・リーダーシップ） ・業務と職場を変革するマネジメント（変革型リーダーシップ）	1	気づき体験型研修 ・職場の融合力を引き出す対応（サーバントリーダーシップ） ・業務と職場を変革するリーダー（変革型リーダーシップ）
2	課題解決プロセス ・製造業を取り巻く環境 ・課題解決プロセス ・課題解決に有効な手法 ・課題解決への取組み事例	2	課題解決プロセス ・製造業を取り巻く環境 ・課題解決プロセス ・課題解決に有効な手法 ・課題解決への取組み事例
3	マネジメント中級 【ケーススタディ】 管理とは 役割意識	3	マネジメント基礎 【ケーススタディ】 歴史に学ぶ動機づけ 時数・勤怠管理

6か月間プログラム

スケジュールイメージ（例）

日	テーマ	主な内容
1	体験型研修①	・ 現場リーダーに求められる業務革新と人材育成 ・ チームワーク向上の鍵とコミュニケーションの重要性 ・ 成果につながる改善計画の立て方と管理 ・ メンバーを動機付け、高成果達成と継続改革
2	集合研修①	・ 課題解決プロセスの理解 ・ 現状・原因分析に役立つ手法 ・ 原因仮説の構築（連関図） ・ 現状・原因分析実施計画書の作成
3	現場指導①	・ 現場確認 ・ 連関図・実施計画書の確認
4	現場指導②	・ 現状・原因分析実施状況の確認
5	体験型研修②	・ コーチングの概要と着目される背景・活用法 ・ メンバーとの信頼構築と非言語の影響 ・ 聴き上手のスキルを習得 ・ コーチングの進め方把握とゴールの明確化
6	集合研修②	・ 現状・原因分析結果の発表 ・ 改善発想に役立つ手法 ・ 改善実施計画書の作成
7	現場指導③	・ 改善実施状況の確認
8	現場指導④	・ 発表資料の確認
9	集合研修③	・ 課題解決実施成果の発表 ・ 活動の振り返り